

# JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2022 11月号

## 「2022年11月 潤滑油製造業地方研修会」開催

11月21日（月）に潤滑油の品質確保事業等への支援事業（資源エネルギー庁補助事業）における人材育成事業の一環として、潤滑油製造にかかわる方々の興味のある課題、知りたい情報等を題材に「2022年11月 潤滑油製造業地方研修会」をオンライン形式により開催いたしました。

当日は会員を中心に多数の参加を得て、盛況に行われました。研修会の内容については、以下のとおりです。

### ○ 開会のご挨拶

潤滑油製造業近代化委員会 技術分科会長  
三和化成工業株式会社 製品保障部  
部長 滝島 克巳 氏

2022年11月潤滑油製造業地方研修会	
13:30	開会（事務連絡・事務局）
13:40	開会の挨拶 潤滑油製造業近代化委員会 技術分科会長 滝島 克巳 氏 （三和化成工業株式会社 製品保障部 部長）
13:50~14:50	講演Ⅰ カーボンニュートラル実現に向けた「e-fuel」の現状と今後の展望 講師 成蹊大学 理工学部 理工学科 教授 博士（工学） 橋本・エネルギー分野 里川 重夫 氏
14:50~15:00	休憩
15:00~16:00	講演Ⅱ 自動車のパワーレインの動向とドライボロギー 講師 トヨタ自動車株式会社 計画・デジタル基盤改革部 村上 元一 氏



開会のご挨拶：滝島 克巳 氏

### 目次

1. 「2022年11月 潤滑油製造業地方研修会」開催
2. 「冬季の省エネルギーの取組について」
3. JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内
4. 潤滑油需給統計
5. お知らせ
6. 協会の動き
7. 今後の予定

○講演1：カーボンニュートラル実現に向けた「e-fuel」の現状と今後の展望

成蹊大学 理工学部理工学科 教授 博士（工学）

環境・エネルギー分野 里川 重夫 氏

将来の燃料における選択肢の1つとして期待される液体合成燃料の必要性について説明の後、カーボンニュートラルに必要な液体合成燃料の製造プロセスについて解説。また、CO<sub>2</sub>からFT合成経路による炭化水素製造技術について詳細に説明。さらに、e-fuel製造事業と今後の重点技術課題についても説明。



講演1：里川 重夫 氏

○講演2：自動車のパワートレインの動向とトライボロジー

トヨタ自動車株式会社 計測・デジタル基盤改革部

主査 博士（工学） 村上 元一 氏

カーボンニュートラルに向けたパワートレインの動向について概説。また、パワートレインの機械損失低減の取組みについて詳細に解説。内燃機関潤滑油、電動トランスアスクル油及びPTG軸受を例にトライボロジーの重要性についても説明。さらに、自動車の使われ方の変化から、潤滑状態モニタリングの試みについても紹介。



講演2：村上 元一 氏

なお、先月のJALOSニュースNo.341でもお伝えしましたように、12月も別テーマで開催致します。ご多忙中とは存じますが、貴重な示唆を得る絶好の機会と考えますので、奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます（問合せ先：潤滑油協会・事業部 TEL 047-433-5181）。

**2022年12月21日（水）開催 13:30より接続可能**

1. 「カーボンニュートラルに向けた内燃機関の将来動向」

東京都市大学 理工学部機械工学科 教授 総合研究所 イノベーション研究機構

高効率水素エンジン・エンジントライボロジー研究センター

センター長 博士（工学） 三原 雄司 氏

2. 「電気自動車向け潤滑油の課題と展望」

シェルブリカンツジャパン株式会社

技術研究所 駆動系潤滑油・工業用潤滑油チーム 小西 智也 氏

【一般社団法人 潤滑油協会ホームページへようこそ】

潤滑油に関する最新情報についてお知らせしています。

- What's New、○イベントインフォメーション、
- 潤滑油統計情報コーナー、○依頼試験、
- 潤滑油・環境ワールド、○JASO、JCMA オンファイル

URL <https://www.jalos.or.jp/>



## 冬季の省エネルギーの取組について

省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議は、関係政府機関で構成されており、毎年、夏と冬に開催されています。経済産業省は、当該会議にて「冬季の省エネルギーの取組について」を決定し、11月1日付で公表しましたのでお知らせいたします。

この決定に基づき、各方面に省エネルギー・節電の取組を呼びかけるとともに、各種コンテンツを用いて省エネ・節電についての周知等を行うことにより、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進するとのことです。

皆様にも関連サイト「省エネ・節電特設サイト」に掲載している冬季の省エネ・節電メニュー、リーフレットを参考にいただき、省エネに取り組んでいただけるようお願いしたいとのことです。

また、政府も率先して、暖房中の室温の適正化や照明の削減など、省エネルギーの取組を実践することです。

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

### ◇経済産業省ホームページ

ホーム > ニュースリリース > ニュースリリースアーカイブ > 2022 年度 11 月一覧 > 「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました

<https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221101001/20221101001.html>

### ◇省エネポータルサイト（資源エネルギー庁ホームページ）

ホーム > 政策について > 省エネルギー・新エネルギー > 省エネルギー政策について

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/index.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html)

## 【 信頼される依頼試験を提供します 】

我が国で唯一の中立的な潤滑油の専門機関として相応しいスタッフ・試験設備を技術センターに整備し、一般試験から特殊試験まで、潤滑油全般にわたる各種試験の要望にお応えできる体制を整えています。

### 対象試験・分析項目

- 潤滑油剤の規格試験、○潤滑油剤の性能試験、○潤滑油剤の成分分析
- 潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出二丁目 16 番 1 号

一般社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579 URL <https://www.jalos.or.jp/>



◆ JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内 ◆

先月号でもお知らせいたしましたが、2022 年度 JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」を下記の日程で開催いたします。

この講座では、潤滑技術に関する第一線の専門家を講師に招き、工業用潤滑剤の日常管理に関する基礎的事項の習得を目的としています。工業用潤滑剤について、工業用潤滑油、金属加工油、グリースに大別し、その種類と特性、要求性能及び選定・管理方法、トラブルシューティング、環境対策、労働安全等一連の管理手法について具体的にやさしく解説します。生産性の向上と地球環境の改善を推進するためにも、多数の方が受講されることをお勧めいたします。

なお本年度は、オンライン講習会（ZOOM ミーティング）とさせていただきますので、ご承知おきください。

【講座概要】

受講対象者：●潤滑剤関係業務経験 1～3 年程度の方 ●業務において潤滑剤に興味をお持ちの方。  
●潤滑管理の実践を目指す方 ●潤滑管理をサポートされる方。

日 程：2023 年 2 月 8 日（水）、9 日（木）

開催方法：オンライン研修（ZOOM ミーティング）

内 容：＜第 1 日目＞ 13:00～17:00

①「工業用潤滑油と管理」

講師：コスモ石油ルブリカンツ株式会社 商品研究所 工業潤滑油グループ  
グループ長 山本 邦治 氏

＜第 2 日目＞ 9:00～16:00（12:00～13:00 昼休憩）

②「金属加工油と管理」

講師：ユシロ化学工業株式会社 技術本部  
技術統括部 商品技術 1 部 丹野 幸雄 氏

③「グリースと管理」

講師：株式会社ニッペコ  
技術部 部長 西村 寛 氏  
＜日本グリース協会 技術委員会推薦＞

定 員：20 名（先着順）

受 講 料（テキスト代、消費税を含みます。）：

正会員 18,700 円 特別会員 22,000 円 賛助会員 25,300 円 一般 33,000 円

問 合 せ 先：一般社団法人 潤滑油協会・JALOS 技術講習会担当

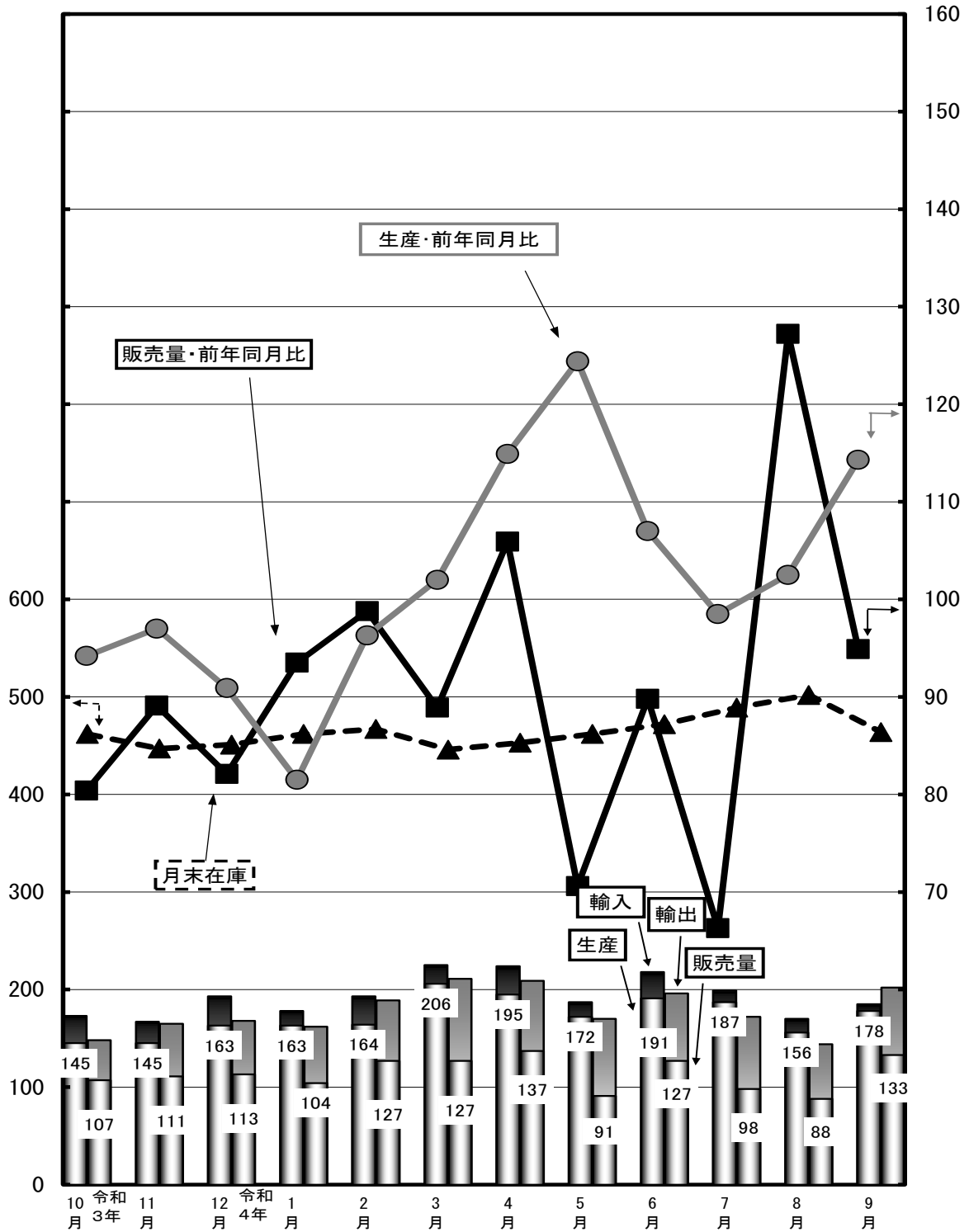
TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579 URL <https://www.jalos.or.jp/>



※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

潤滑油需給統計

9月の生産量は178千kLで前年同月比で14.3%上回り、販売量は133千kLで5.1%下回った。  
 (千kL) (千kL) (%) (%)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）  
 (※8月分生産量・販売量の前年同月比データに誤りがありましたので、修正を行いました。)

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産	輸入	国内向販売	輸出	在庫	生産部門	
						生産部門	販売部門 (製造業者・輸入業者)
令和 1	2,268,946	235,247	1,578,055	839,240	460,599	170,119	290,480
2	2,026,775	195,920	1,419,764	749,232	468,262	182,964	285,298
3	2,008,464	270,105	1,469,039	766,211	450,916	168,202	282,714
令和 2年度	2,029,653	192,810	1,430,267	812,851	450,597	177,166	273,431
3	1,969,259	279,529	1,444,278	723,422	445,765	162,812	282,953
令和 3年 7~9月	497,386	72,084	356,256	199,321	452,815	162,675	290,140
10~12	452,716	79,864	327,801	150,183	450,916	168,202	282,714
令和 4年 1~3月	532,823	63,250	359,181	203,887	445,765	162,812	282,953
4~6	714,187	70,317	502,134	220,067	471,783	153,304	318,479
7~9	666,546	33,205	448,683	199,574	464,471	148,985	315,486
令和 3年 7月	189,279	23,585	147,253	77,167	431,005	149,989	281,016
8月	152,304	18,949	68,939	64,546	457,894	163,339	294,555
9月	155,803	29,550	140,064	57,608	452,815	162,675	290,140
10月	145,046	28,190	103,731	41,073	461,563	164,232	297,331
11月	145,128	21,704	110,602	53,885	447,263	155,306	291,957
12月	162,542	29,970	113,468	55,225	450,916	168,202	282,714
令和 4年 1月	163,011	14,676	104,243	58,029	461,973	168,753	293,220
2月	163,569	29,472	127,473	61,837	466,991	167,994	298,997
3月	206,243	19,102	127,465	84,021	445,765	162,812	282,953
4月	249,339	28,554	193,528	71,698	452,789	152,784	300,005
5月	220,533	15,008	128,938	79,391	462,369	152,865	309,504
6月	244,315	26,755	179,668	68,978	471,783	153,304	318,479
7月	238,730	11,769	137,667	74,231	488,947	153,644	335,303
8月	199,898	14,449	123,593	56,029	501,781	176,928	324,853
9月	227,918	6,987	187,423	69,314	464,471	148,985	315,486
前年同月比 (%)	146.3	23.6	133.8	120.3	102.6	91.6	108.7

※「国内向販売」は調査対象が調査対象以外（消費、卸売又は小売事業所）へ販売した数量（理論値）を示す。

※令和 4 年 4 月分より潤滑油の集計方法の改訂が行われました。詳細は JALOS ニュース No.337 をご覧下さい。

製造業者・輸入業者の消費者・販売業者向販売、在庫内訳

（単位：kl）

区 分	消費者・販売業者向販売	(前年同月比 %)	在 庫	(前年同月比 %)
潤滑油計(R4年9月)	200,937	(101.5)	315,486	(108.7)
ガソリンエンジン油	36,398	(109.4)	28,366	(122.5)
ディーゼルエンジン油	19,839	(97.7)	13,706	(127.1)
その他 車両用	19,141	(115.8)	22,378	(95.0)
船舶用エンジン油	10,952	(103.9)	12,454	(114.0)
機 械 油	28,736	(105.6)	24,343	(117.8)
金 属 加 工 油	13,205	(106.9)	12,965	(96.8)
電 気 絶 縁 油	4,771	(90.5)	5,156	(59.1)
その他特定用途向け	38,841	(80.1)	108,415	(116.7)
その他	29,054	(120.9)	87,703	(102.0)

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

## お知らせ

### ○令和4年9月17日から同月24日までの間の暴風雨及び豪雨による災害により影響を受けている 下請中小企業との取引に関する配慮について

この度、中小企業庁事業環境部取引課より標記についての周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

令和4年9月17日から同月24日までの間の暴風雨及び豪雨によって、宮崎県をはじめとした全国の広範な地域において、交通インフラや建物・設備の損害等が確認されており、これによる取引上の影響は、全国の事業者に広がる可能性があります。経営基盤の弱い中小企業者・小規模事業者に対するこれらの影響を最小限とするため、下記事項についてご配慮ください。

1. 親事業者においては、今回の暴風雨及び豪雨の発生を理由として、下請事業者に一方向的に負担を押しつけることがないよう、十分に留意すること
2. 親事業者においては、今回の暴風雨及び豪雨によって影響を受けた下請事業者が、事業活動を維持し、又は今後再開させる場合に、できる限り従来の取引関係を継続し、あるいは優先的に発注を行うよう配慮すること

災害発生時における、受領拒否や返品など取引上の問題に対する、独占禁止法<sup>注1</sup>及び下請法<sup>注2</sup>における考え方について、公正取引委員会が東日本大震災時に取りまとめておりますので詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

注1 独占禁止法：私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律

注2 下請法：下請代金支払遅延等防止法

### ◇東日本大震災に関連する Q&A（公正取引委員会のホームページ）：

<https://www.jftc.go.jp/soudan/shinsaikanren/23jishinqa.html>

### ○しわ寄せ防止キャンペーン月間

この度、資源エネルギー庁石油精製備蓄課より標記についての周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

厚生労働省、中小企業庁及び公正取引委員会では、令和元年6月に策定した「大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止のための総合対策」（以下「総合対策」という。）に基づき、「しわ寄せ」防止に向けた取組を推進しているところです。

総合対策では、厚生労働省、中小企業庁及び公正取引委員会が連携し、「しわ寄せ」防止に向けた各種施策を講じることとしているほか、業所管省庁に対して、所管業界団体への指導、周知啓発等の積極的な関与について働きかけを行うこととされています。

また、11月を「しわ寄せ防止キャンペーン月間」と位置づけ、厚生労働省が実施する「過重労働解消キャンペーン」及び公正取引委員会・中小企業庁が実施する「下請取引適正化推進月間」の各種取組

と連携を図りながら、しわ寄せ防止に向けた集中的・効果的な周知・啓発の取組を行うこととしています。詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇しわ寄せ防止キャンペーン月間特設サイト：

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/index.html>

◇「大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止のための総合対策」について：

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/pdf/boushi.pdf>

## ○消費税制度（インボイス制度）について

この度、資源エネルギー庁石油精製備蓄課より標記についての周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

平成 28 年度税制改正法における消費税法の改正により、令和 5 年 10 月より適格請求書等保存方式（いわゆる、インボイス制度）が開始されることとなりました。

インボイス制度においては、消費税の仕入税額控除のためにインボイスの保存が必要になり、インボイスの交付を行うためには税務署への「適格請求書発行事業者（注）」としての登録申請が必要になるといった現行制度からの変更点があります。

また、制度の円滑な移行のため、免税事業者からの仕入れについても、制度開始後の 3 年間は仕入税額の 80%、その後の 3 年間は仕入税額の 50%を控除できる経過措置が設けられています。

（注）インボイスを交付できる事業者として税務署の登録を受けた事業者のことを指し、課税事業者がこうした登録を受けられることになっています。

### 1 早期登録の依頼

インボイス発行事業者の登録申請については、令和 4 年 9 月末時点では約 120 万の事業者の方が登録されています。この登録件数については、現在毎月約 20 万程度が登録されており、そのペースも前月比で+20%になるなど、加速度的に増加しています。原則的な登録申請期限である令和 5 年 3 月末に近づくにつれ申請数が大幅に増加することが予想されます。そのため登録処理に時間をいただくことが予想されますので、現時点で登録を予定されている事業者の方には、できるだけ早期の登録申請をお願いしたいとのことです。詳細につきましては、下記ホームページ及び連絡先をご参照下さい。

◇国税庁 インボイス制度特設サイト：

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

◇国税庁 令和 5 年 10 月 インボイス制度が始まります！（リーフレット）について：

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0022008-052.pdf>

◇国税庁 適格請求書等保存方式の概要 インボイス制度の理解のために：

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>



## ◇国税庁 適格請求書等保存方式に関する Q&amp;A :

[https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa\\_01.htm](https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa_01.htm)

## ◇国税庁 消費税軽減税率・インボイス制度電話相談センター :

0120-205-553 (無料) 【受付時間】9:00~17:00 (土日祝除く)

## 2 「免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する Q&amp;A」について

免税事業者やその取引先の対応に関して、消費税法だけでなく独占禁止法及び下請法、建設業法といった関係法令に基づいて「免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する Q&A」をとりまとめて公表しています。また、これらの関係法令における個別事例等の問い合わせについては相談窓口がございます。詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇財務省 : [http://www.mof.go.jp/tax\\_policy/summary/consumption/d02.htm](http://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d02.htm)

◇公正取引委員会 : [https://www.jftc.go.jp/dk/guideline/unyokijun/invoice\\_qanda.html](https://www.jftc.go.jp/dk/guideline/unyokijun/invoice_qanda.html)

◇中小企業庁 : <https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/index.html>

◇国土交通省 : [https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000178.html](https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000178.html)

※ 各ホームページに掲載されている Q&A は全て同じ内容となります。

## 3 中小企業等に向けた支援措置等

令和 3 年度補正予算において、インボイス制度への対応に向けた IT 導入補助金や持続化補助金といった予算措置が講じられています。詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

## ◇中小企業庁 生産性革命推進事業 :

[https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/1224/003\\_seisansei.pdf](https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/1224/003_seisansei.pdf)

## 協会の動き

## ○第 13 回 JASO 4 サイクルエンジン油分科会 (Web 会議) に参画

10 月 24 日 (月) に公益社団法人 自動車技術会主催による「第 13 回 JASO 4 サイクルエンジン油分科会」に参画しました。

## ○2022 年度 DEO 技術委員会 第 4 回 動弁系摩耗、清浄性、燃費試験サーベイランスパネル会議 (Web 会議)

10 月 24 日 (月) に、「2022 年度 DEO 技術委員会 第 4 回 動弁系摩耗、清浄性、燃費試験サーベイランスパネル会議」を開催しました。

## ○第 54 回 JASO 次世代ガソリンエンジン油 TF (Web 会議) に参画

10 月 25 日 (火) に石油連盟および一般社団法人 日本自動車工業会による「第 54 回 JASO 次世代ガソリンエンジン油 TF」に参画しました。

○MCO ワーキング（Web 会議）に参加

10月26日（水）に開催された、一般社団法人 日本自動車工業会主催による「MCO ワーキング」にオブザーバーとして参加しました。

○ISO・JIS 試験法分科会（Web 会議）に参画

10月27日（木）に開催された、石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画し、ISO・JIS 原案について審議しました。

○第2回 エンジンオイル分科会（Web 会議）に参画

11月2日（水）に開催された、公益社団法人 自動車技術会主催による「第2回 エンジンオイル分科会」に参画しました。

○第2回 技術分科会（Web 会議）

11月16日（水）に、第2回 技術分科会（分科会長：三和化成工業株式会社 滝島 克巳 氏）を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

- (1) 2022年度事業の中間報告について (2) その他

○第2回 保安防災分科会（Web 会議）

11月17日（木）に、第2回 保安防災分科会（分科会長：中外油化学工業株式会社 山内 茂 氏）を開催しました。議事内容は以下のとおりです。

- (1) 潤滑油製造業 BCP 等調査について (2) 中間報告について  
(3) その他

○2022年11月 潤滑油製造業地方研修会

11月21日（月）に開催。内容は前掲。

○潤滑油製造業 BCP 合同勉強会（Web）

11月22日（火）に、潤滑油製造業 BCP 合同勉強会を開催しました。

## 今後の予定

○理事会

12月9日 Web 開催

○JALOS 技術講習会

「初級コース・潤滑油添加剤の基礎」

12月16日 Web 開催

○潤滑油製造業地方研修会

12月21日 Web 開催

禁無断転載

発行日 2022年11月22日

発行所 一般社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出二丁目16番1号

TEL 047-433-5181（代表）

FAX 047-431-9579

印刷所 株式会社みつわ